



Southeast Asia

Regional Network

News Letter



宇都宮大学 国際学部・国際学研究科 同窓会 東南アジア支部 ニュースレター

Southeast Asia Regional Branch, Faculty of International Studies & Graduate School of International Studies Utsunomiya University Alumni Association

Vol. 2
December, 2017

CONTENTS

1. 同窓会関連報告
2. 宇都宮大学サテライトオフィス誕生
3. タイ国宇都宮大学同窓会発足
4. 懇談会報告
5. 新規メンバー紹介
6. 同窓生インタビューリレー
7. タイの昨今：連載コラム



1 定例同窓会協議会にて 東南アジア支部発足報告

9月25日、各学部同窓会の活動報告や大学に対する要望を協議・懇談する場である、各学部等同窓会連絡協議会(年2回開催)にて、同窓会副会長志村さん、大学院同窓会長土屋さんが、当東南アジア支部発足について報告されました。皆さんに周知頂く絶好の機会となりました。

2 タイ国立カセサート大学内に “宇都宮大学サテライトオフィス”誕生

10月18日、タイ国カセサート大学農学部ワチラヌソーン棟にて、宇都宮大学石田学長、後藤特命教授、カセサート大学副学長代理、農学部長、タイ人元留学生、支部メンバー(大畑さん・本間さん・大宮さん)の出席の元、終始和やかな雰囲気の中、『宇都宮大学サテライトオフィス』開所式が行われました。



開所式に参加された方々の記念撮影

強固なものとし、今後の学術交流をより活発にするものと期待されます。オフィスは、カセサート大学農学部ワチラヌソーン棟7階に開設され、農学部後藤特命教授が管理運営されます。

3 タイ国宇都宮大学同窓会発足

10月18日サテライトオフィス開設と同時に、タイ人元留学生メンバーが中心となった『タイ国宇都宮大学同窓会』が創設されました。同窓会は正規課程の卒業生/修了生/交換留学などの経験者の他、タイ在住の日本人同窓生(入会希望者)で構成され、今後の新たなネットワーク構築が期待されます。

4 懇親会@バンコク

10月12日 宇都宮大学農学部特命教授 後藤先生を囲んで懇親会が開催されました。支部メンバーに加え、農学部、工学部出身の方、今年7月よりカセサート大学留学中の国際学部3年生の玉城さんにも参加頂き、総勢10名にて楽しいひと時を過ごすことができました。お互い初対面という方もおり、これを機に、さらにタイ在住者同士の交流深めていきたいと思えます。



テープカットの様子:左から スキット農学部長、ダムロン副学長代理、石田学長、後藤特命教授

1993年のカセサート大学との大学間交流協定締結から24年、宇都宮大学で学んだタイ人学生は、正規留学生、短期留学生合わせて70名近くに上ります。一方で1996年から開始された宇都宮大学からカセサート大学への交換留学(短期)は現在も続いており、今年も3名の国際学部在籍者がカセサート大学へ留学しています。このように毎年途切れず続いている宇都宮大学-タイ間との交流は、まさに親交の深さを物語っていると言え、そのような中でのサテライトオフィス設立は、両者のつながりをさらに



左から
橋本さん(工)
原さん、大畑さん
谷澤さん、大宮さん
本間さん、池内さん
(農)、後藤先生
玉城さん、田中さん

8月13日の当支部発足に伴い、知求会メンバーをはじめ東南アジアにゆかりのある方々に発足の連絡と名簿登録のお願いをしております。その甲斐あって、9-11月は、東南アジア在住同窓生9名（在住国内訳：タイ5名、インドネシア2名、ラオス1名、シンガポール1名）、ファンクラブ3名の方が当支部の仲間になってくれました。個人レベルでの追跡連絡作業のため、世代間に偏りはありますが、点から線へ、今後もう少しずつネットワークが広がっていくよう広報活動に努めたいと思います。以下入学年度順にメンバーをご紹介します（掲載許可分）。

Thailand

大畑 美優紀 さん

タイ在住/栃木県出身

95年度入学・国際社会学科/国際学研究所
マリー/藤田研究室

日本を離れて早11年目になり、最近は里心がついてきたのか、今までのご縁、これからのご縁を大切にしていきたいと強く思うようになりました。その想いから、生まれたのがこの東南アジア支部です。海外在住だと同窓会に参加するのはなかなか難しいもの。それならこちらから私たちの今を発信してしまおう！というのがこのニュースレターです。ご無沙汰していた同窓生同士、先生方を巻き込んで、同窓会ネットワークが更に広がっていくことを願っています。

Laos

田邊 知成 さん

ラオス在住/広島県出身

96年度入学・国際文化学科/国際学研究所
小池研究室

派遣専門家としてラオスに来ています。任国外への旅行には派遣元の事前承認が必要になるので、ラオスから離れるのはちょっと面倒ですが、もし懇親会などあれば一度みなさんとお会いしたいですね。



Fun club

Romanov (当真) 里絵 さん

チェコ在住/沖縄県出身

96年度入学・国際文化学科
佐々木(史)研究室

大学を離れて長いですがこのような形でまた繋がることができ非常に嬉しく思います。東南アジアに在住ではありませんが、現在住んでいるヨーロッパにおける東南アジアの位置づけ、人の移動/活動を観察することが日常になっております。東南アジアと欧州は共通点がないように見えて歴史的、政治的、経済的繋がりによる東南アジア人の活動は非常に興味深いところでございます。遠方につき微力のご協力しかできないかと思いますが引き続きどうぞよろしくお願い致します。

Fun club

栗林 (泊) 祥子 さん

石川県在住/石川県出身

96年度入学・国際社会学科
梅木研究室

私がホーチミンにいたのはもう15年も前になります。帰国後、地元の石川県能登に戻ってからは企業実習生に関わる仕事を少ししていましたが、現在子育て中心の毎日を送っていてアジアとは離れてしまっています。でもアジアとは何らかの形で関わっていたいなあ、と思っているのでファンクラブの登録をさせていただきました。バタバタと過ぎていく日常で「また東南アジアに行ける日があるのかなあ」なんて思っていたので今回のネットワークを知りとても嬉しかったです。どうぞよろしくお願い致します。

Singapore

Thomson (渡辺) はる さん

シンガポール在住/千葉県出身

97年度入学・国際社会学科
今井研究室

Thailand

本間 みずほ さん

タイ在住/青森県出身

97年度入学・国際社会学科
田巻研究室

長年タイに滞在していますが、最終的にいつも仲良くして頂いているのは宇大出身の先輩や後輩です。仲間と切磋琢磨して海外で頑張れるという事にとても感謝しています。そして最近タイへ調査などでいらっしゃる先生方も多く、現在カセサート大学に留学している在校生とのご縁も繋いで下さいました。改めて、宇大っていいなあと温かい気持ちです。更にこの輪を広げていけたら嬉しいです。

Thailand

原 理恵 さん

タイ在住/東京都出身

98年度入学・国際社会学科/国際学研究所
藤田研究室

バンコクに住んで11年目になりました。こちらでは宇大出身の先輩後輩とお会いする機会があり、毎回楽しく刺激を受けています。各地の皆さんとの交流できる機会が広がることをとてもうれしく思っています。宜しくお願い致します。

Thailand

谷澤 壮一郎 さん

タイ在住/滋賀県出身

02年度入学・国際社会学科
石浜研究室

宇大出身の先輩・後輩が、タイには結構いらして、正直驚きました。東南アジア全体でも、実は結構な人数になるのではないのでしょうか。宇大で過ごした時間を懐かしむだけでなく、アジアと栃木・宇都宮・国際学部をよりいっそう近づけるべく、今後、新たな展開も模索していきたいですね。どうぞ宜しくお願い致します。

Thailand

大宮 勇樹 さん

タイ在住/山形県出身

06年度入学・国際文化学科
マリー研究室

★ ★ 登録まであと一步の皆さんへ ★ ★

正式に名簿登録をお待ちしています。正式登録はこちらから↓
<https://creativesurvey.com/ng/reply/5dee973a4d5e822f9910e38cf2e2c7/>



Profile

田邊 知成 さん

Tomonari Tanabe

- 広島県出身
- ラオス在住1年目
- 国際文化学科・国際学研究科
2期生（小池研究室）



大学卒業から現在までの道のりは？

現在は国際交流基金派遣の日本語専門家としてラオス国立大学というところで日本語を指導しています。わたしは2期生になるのですが、国際学研究科在学中にやはり基金の派遣で2年間中国へ行き、みんなより遅れて2004年に修士修了しました。その後、2005年から実家のある広島県で3年ほど働いたのち、インド4年、ミャンマー3年を経て、この5月からラオス・ビエンチャンにきています。東南アジア滞在歴はようやく4年目に入りました。

4か国それぞれの国の学生の気質や国民性の違いなど指導上感じたことや苦労されたことは？

中国には留学も含めて7年、インドには4年お世話になりました。ミャンマーで初めて人口が10億を切る国での海外生活を体験した後、現在は総人口700万に満たない国で、生まれて初めての首都生活です。言うまでもなく中国とインドは大国です。インドシナ半島と呼ばれる通り、東南アジアの国々はどの国もこの二つの大国から多大な影響を受けています。インド→ミャンマー→ラオスと、一歩ずつ東に渡り歩いてきてみると、やはり徐々にインド比率が小さく、中国比率が

大きくなっていくのを感じます。そんな中で、やはり中国とインドの人は似ている部分もあって、両文化とも自分の主張をはっきり表明します。それに対して東南アジアの人々はどこか日本的で、思っていることをそのまま口には出さない。これは奥ゆかしさでもあります。外国人からしてみると本音が見えにくいというわかりづらさもあります。



教師の日、学生主催の食事会

インド赴任当初、インドの日本語教育は歌ったり踊ったり、会話中心、アクティビティー中心の教育を予想していたのですが、意外と暗記中心型の勉強法だったのに驚きました。まあ、よく考えれば二桁の九九を暗記したりしているという話は有名ですね。4か国、そして日本も含めて、伝統的には暗記を重視した教育がおこなわれ、そのなかで現代的なコミュニケーション中心の言語教育に変わりつつあるというのがアジアの言語教育の一般的な姿のようです。それから教師に対してとても敬意を表してくれるのもアジア文化の特徴です。ラオスでも毎年教師の日には学生たちが主催する食事会が開かれ、学生たちから感謝の言葉が贈られます。私の仕事の観点から言うと、教師中心、暗記中心に偏りがちな言語教育を、いかに学習者中心、コミュニケーション中心のものに変えていけるか、ということが課題となります。

ラオスでの生活をどのように楽しんでいますか？

私は東京にも北京にもニューデリーにもネパドゥーにも住んだことがありません。ビエンチャンはほんの小さな町ですが、生まれて初めての首都生活、町には外国人バックパッカーが集まるようなカフェもたくさんあり、それなりに快適に暮らさせています。東南アジア生活の一番の魅力は辛いものがふんだんに味わえるところです。辛いものとビールがあれば何も困りません。ローカル料理とローカルビールが何よりの心の癒しです。ラオスは自然や民族文化を楽しむ観光スポットが多いようなので、休みが取れたら積極的に国内旅行に出てみたいですね。

今後の抱負も交え、みなさんにメッセージを！

ラオスでも近年ようやく日本語を学ぶ若者が増えてきました。日本と日本語をもっと身近に感じてもらえるような活動ができれば本望です。ラオスにも3年はお世話になりたいなと思っています。東南アジア研究されている後輩のみなさん、日本語教育に関心のある後輩のみなさんがもしいらっしゃいましたらぜひビエンチャンに遊びにいらしてください。辛い食べ物もおいしいですよ。



ラオス生活

7 ◇タイの昨今◇連載コラム◇ No. 2 ～教育事情part②～

息子の通うクリスチャン系私立小学校、色々と度肝を抜かれること盛りだくさんです。タイの学校は1学期5-9月、2学期11-3月の2学期制。10月の中休みを前に、息子の学校でも3日間の期末試験がありました。1日6科目を隔日3日間、このハードさにもちょっと面喰いしましたが、さらに度肝を抜かれたのは、試験方式が小中高全校生共に「マークシート式」だったこと！テストの数週間前にマークシートの塗りつぶし練習シートが配布され、何これ？と思っていたのがこれでした。さらには試験のなか日は休校。なんだか大学の試験期間のよう。しかも試験結果は学校のHPに掲載され、学籍番号入力で楽々チェック♪。発表内容は、科目ごとに合格、不合格の判定のみ。さらに不合格者には数日後に各科目ごとの追試が待っているのです。肝心の点数は、前期の通知表にて発覚する仕組みでした。ちなみに答案



試験の様子

用紙や問題用紙が返却されないのは、タイでは一般的なようです。マンモス校ならではの効率性重視のこの仕組みに納得いかない部分も多いけど、なにはともあれ、一般的に子供に優しいタイ社会でも、学校内は打って変わってシビアな世界ということは、私もすっかり理解できました。競争社会は辛いよ。（大畑）

仲間募集中



ご質問、ご要望なんでもござれ
ニュースレター編集係（大畑）
searbfis@outlook.com

★東南アジア域内在住同窓生・元留学生在住・

ファンクラブの皆様へ名簿登録のお願い

以下のURLかQRコードからアクセス！

<https://creativesurvey.com/ng/reply/5dee973a4d5e822f9910e38cf2e2c7/>

★情報をお寄せください

■同窓生・元留學生関連懇談会情報・報告

■各国イベント情報等々

